

令和5年度小牧市地域農業再生協議会水田収益力強化ビジョン

1 地域の作物作付の現状、地域が抱える課題

現在、水田は市内の耕地の約半分を占め、米は本市の中心的な作物であり、戦略作物では加工用米、飼料用米が定着しつつある。

地域振興作物では、水田を活用し、野菜を中心に生産している。しかしながら、担い手が不足しており、耕作放棄地が点在している。

2 高収益作物の導入や転換作物等の付加価値の向上等による収益力強化に向けた産地としての取組方針・目標

本市は、圃場整備によってまとまった農地が存在し、水稻の作付に適していることから、引き続き需要に応じた米の生産に取り組む。

直播栽培や多収品種導入による作期分散等の低コスト生産の取組を推進し、加工用米や飼料用米などの転換作物の作付面積の増加を目指す。

3 畑地化を含めた水田の有効利用に向けた産地としての取組方針・目標

本市は、水稻を主軸に生産している担い手が多く、大規模な農業経営を行っている法人も存在するため、水田として集積・集約化を進め、農業者の生産性の向上を目指す。

水田の利用状況は、現地確認による点検を行う。

畑地化の取組は、農地転用の原因となる可能性があるため原則として推進しない。

しかし、水張水田も含め水稻作付をしない作付体系が、数年以上定着し、畑作物のみを生産し続けている水田については、畑地化も検討していく。

麦の新規作付に伴い、ブロックローテーションの実施についても検討する。

4 作物ごとの取組方針等

(1) 主食用米

- ・売れる米づくりを目指し、産地品種銘柄である『あいちのかおり』を主力にし、また、消費者ニーズに応えるために減農薬・減化学肥料栽培など、安全安心な米づくりを推進する。

- ・受託水田の集約化、乾田直播による繁忙期の分散化、低コスト技術の推進、種子更新の推進、品種適正配分により、地域稲作の効率的な運営を進める。

- ・乾燥調整施設による集荷体制の構築を進めていく。

(2) 備蓄米

- ・低コスト生産の取組を進め、国の備蓄米運営に寄与するため取り組む。

(3) 非主食用米

ア 飼料用米

- ・生産性の向上を図るため、立毛乾燥やカメムシ防除対策に取り組む。

イ 米粉用米 該当なし

ウ 新市場開拓用米 該当なし

エ WCS 用稲 該当なし

オ 加工用米

・低コスト生産の取組を進め、主にＪＡあいち経済連集荷による実需者への安定供給の推進に取り組む。

(４) 麦、大豆、飼料作物

・麦について、排水対策等を行い、品質・収量の向上を図る。

(５) そば、なたね

該当なし

(６) 地力増進作物

該当なし

(７) 高収益作物

・水田を活用した栽培が可能な野菜について、地域振興作物として取り組む。

5 作物ごとの作付予定面積等

～

8 産地交付金の活用方法の明細

別紙のとおり

5 作物ごとの作付予定面積等

(単位:ha)

作物等	前年度作付面積等		当年度の作付予定面積等		令和5年度の作付目標面積等	
		うち 二毛作		うち 二毛作		うち 二毛作
主食用米	337		329		329	
備蓄米	11.79		11.78		11.78	
飼料用米	9.43		9.50		9.50	
米粉用米						
新市場開拓用米						
WCS用稲						
加工用米	20.12		21.00		21.00	
麦	0.59		0.60		0.60	
大豆						
飼料作物						
・子実用とうもろこし						
そば						
なたね						
地力増進作物						
高収益作物	0.55		0.63		0.63	
・野菜	0.55		0.63		0.63	
・花き・花木						
・果樹						
・その他の高収益作物						
その他						
・〇〇						
畑地化						

6 課題解決に向けた取組及び目標

整理 番号	対象作物	使途名	目標	前年度（実績）	目標値
1	野菜（別紙のとおり） （基幹作）	高収益作物（野菜）の取組	取組面積	（4年度） 0.55ha	（5年度） 0.63ha
2	加工用米・飼料用米 （基幹作）	加工用米・飼料用米の取組	加工用米取組面積	（4年度） 20.12ha	（5年度） 21.00ha
			飼料用米取組面積	9.43ha	9.50ha
			計	29.55ha	30.50ha

※ 必要に応じて、面積に加え、取組によって得られるコスト低減効果等についても目標設定してください。

※ 目標期間は3年以内としてください。

7 産地交付金の活用方法の概要

都道府県名:愛知県

協議会名:小牧市地域農業再生協議会

整理 番号	使途 ※1	作 期 等 ※2	単価 (円/10a)	対象作物 ※3	取組要件等 ※4
1	高収益作物（野菜）の取組	1	7,500	野菜（別紙のとおり）（基幹作）	通常の肥培管理を行うこと等
2	加工用米・飼料用米の取組	1	1,000	加工用米・飼料用米（基幹作）	地域の栽培指針に準じた土壌改良資材の施用による土づくりに取り組むこと等

※1 二毛作及び耕畜連携を対象とする使途は、他の設定と分けて記入し、二毛作の場合は使途の名称に「〇〇〇(二毛作)」、耕畜連携の場合は使途の名称に「〇〇〇(耕畜連携)」と記入してください。

ただし、二毛作及び耕畜連携の支援の範囲は任意に設定することができるものとします。

なお、耕畜連携で二毛作も対象とする場合は、他の設定と分けて記入し、使途の名称に「〇〇〇(耕畜連携・二毛作)」と記入してください。

※2 「作期等」は、基幹作を対象とする使途は「1」、二毛作を対象とする使途は「2」、耕畜連携で基幹作を対象とする使途は「3」、耕畜連携で二毛作を対象とする使途は「4」と記入してください。

※3 産地交付金の活用方法の明細(個票)の対象作物を記載して下さい。対象作物が複数ある場合には別紙を付すことも可能です。

※4 産地交付金の活用方法の明細(個票)の具体的要件のうち取組要件等を記載してください。取組要件が複数ある場合には、代表的な取組のみの記載でも構いません。